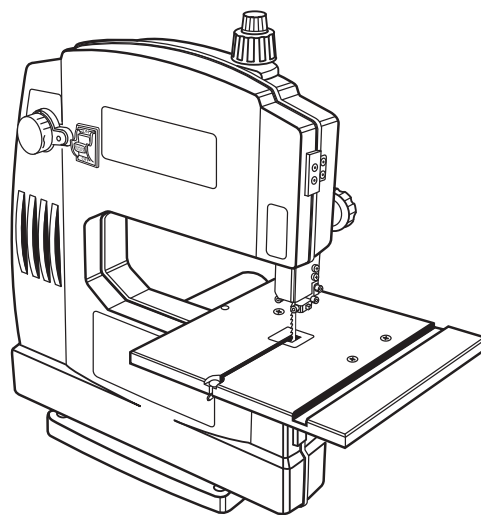


卓上バンドソー TBS-80

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■梱包明細	7
■各部の名称・用途	8
■仕様・別販売品	9
■組立て	10～12
■操作方法	13～21
■切断作業	22～23
■保守と点検	24～25
■保証書	26

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

警告

- ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
 5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- C) 作業者に関する安全事項
1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
 2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
 3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
 4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
 5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
 6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。

警告

- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
 - ・保管、または修理する場合
 - ・その他危険が予想される場合
4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。
 - ・不慣れな方のご使用は危険です。
5. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
 - ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
 - ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
 - ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。
 8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・感電のおそれがあります。

卓上バンドソーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、卓上バンドソーを使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 必ずアース（接地）してください。
 - ・アースしていないと感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ガス管に触れると爆発のおそれがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 使用前に本体を安定した台などに固定してください。
 - ・確実に本体が固定されていないと、作業中に本体が振れたり、倒れたりしてけがの原因になります。
5. ソーカバーは、必ず材料の近くまで降ろして使用してください。（15 ページ「●ソーカバーの調整」参照）
 - ・帯ノコ刃が露出したままでの使用は、けがの原因になります。
6. 使用中は、帯ノコ刃や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
7. 帯ノコ刃は指定のものを使用してください。また、正しい方法で確実に取付けてください。
 - ・指定以外のものは、けがの原因になります。
8. 切断する材料は、しっかりと保持してください。
 - ・保持がゆるいと、けがの原因になります。
9. 長い材料や重い材料を加工する時、切断中に材料の重みなどでバランスが崩れ、帯ノコ刃をはさみつけられないよう注意してください。
 - ・帯ノコ刃がはさみつけられずと、けがや故障の原因になります。
10. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがや故障の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、帯ノコ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 使用しないときは、スイッチを切り、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
13. 帯ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。損傷、変形した帯ノコ刃は新しい帯ノコ刃に交換してください。
 - ・けがの原因になります。
14. 切断時には、必ず刃口板を取付けて使用してください。また、刃口板が損傷したときは新しいものと交換してください。

警告

- 丸太など安定しない材料は切断しないでください。
 - ・木材が動いた場合、帯ノコ刃が損傷してけがの原因になります。
- 延長コードは、アース中継線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

注意

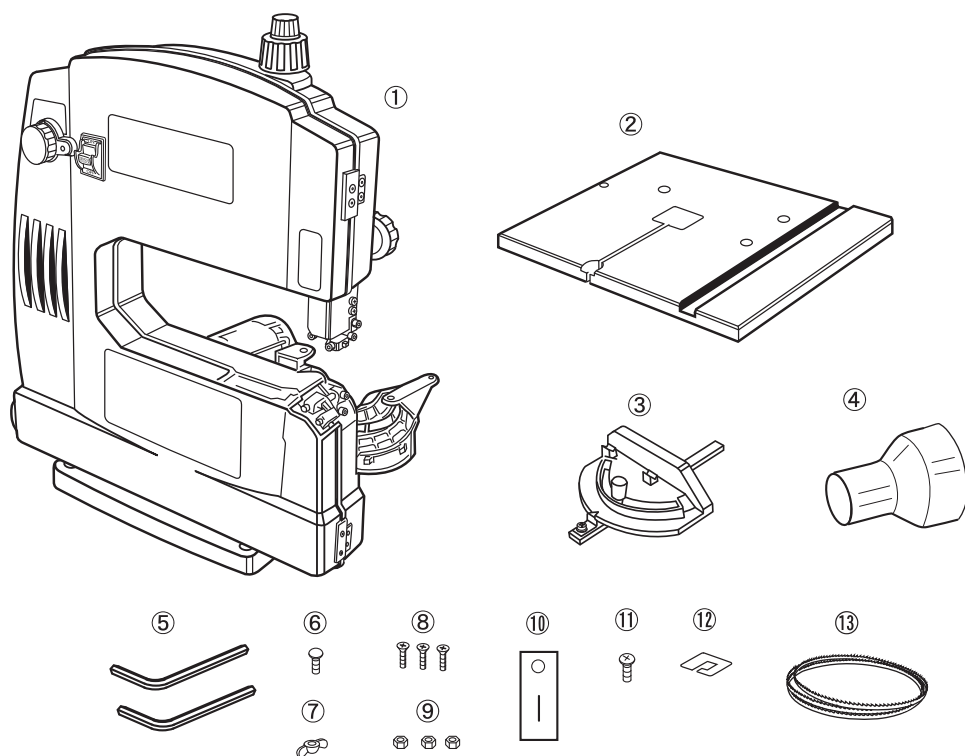
- 帯ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 使用中は、軍手などの巻込まれるおそれのある手袋は着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
- 作業前に、帯ノコ刃を空転させ、本体の振動や帯ノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
- 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・刃こぼれや、反発から思わぬけがの原因になります。
- 切断しようとする材料の前方や切断線上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業をしないでください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し感電のおそれがあります。
- スイッチを切った後も、惰性で回転している帯ノコ刃に注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因になります。
- 作業直後の帯ノコ刃は高温になっていますので触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
- 連続作業するとモーターが高温になることがありますので触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
- 本体を作動させたまま、放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
- 帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

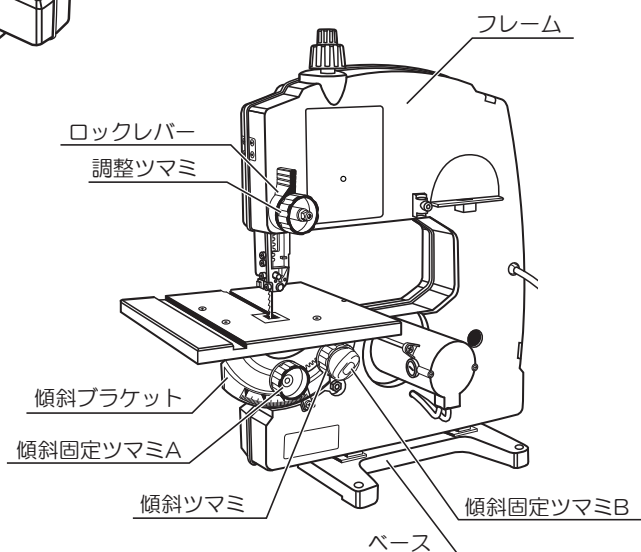
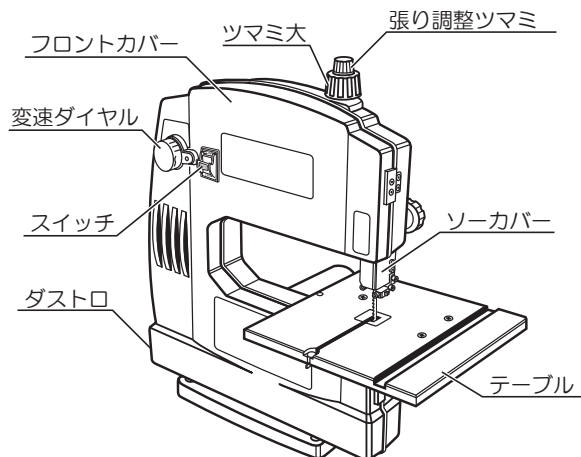
梱包明細



No	名称	数量	No	名称	数量
①	本体	1	⑧	皿小ネジ	3
②	テーブル	1	⑨	ナット	3
③	マイターゲージ	1	⑩	指示板	1
④	集じんアダプター	1	⑪	小ネジ	1
⑤	六角棒レンチ (3mm,4mm)	各1	⑫	刃口板	1
⑥	ボルト	1	⑬	帯ノコ刃 (本体取付)	1
⑦	蝶ナット	1	-	取扱説明書 (本書)	1

各部の名称・用途

●各部の名称



●用途

- ・各種木材の切断

※ 別販売品の帯ノコ刃を使用してプラスチック、軟らかい金属の切断ができます。
鉄板の切断はできません。

仕様・別販売品

●仕様

- ・電源 单相・交流 100 V 50/60 Hz
- ・定格電流 5.0 A
- ・消費電力 320 W
- ・無負荷帯ノコ刃周速 1.5 ~ 15 m/s
- ・帯ノコ刃（周長） 1445 mm
- ・フトコロ寸法 280 mm
- ・加工能力厚
 - やわらかい木 80 mm
 - かたい木 50 mm
 - アルミ 6 mm
- ・コード長さ 2 m
- ・本体寸法（幅×奥行×高さ） 622 × 317 × 622 mm
- ・質量 13 kg

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●別販売品

- ・集じんホース 長さ 2.5m、本体接続側（外径）30mm、集じん機接続側（外径）38mm
長さ 2.5m、本体接続側（内径）38mm、集じん機接続側（外径）38mm
- ・帯ノコ刃

刃幅 × 厚さ × 周長 × 山数（数/インチ）	用途
6.35mm × 0.36mm × 1445mm × 6山 （付属品）	木材の切断
3.18mm × 0.36mm × 1445mm × 14山	薄い木材・プラスチック・非鉄金属（アルミ・真鍮・銅）の曲線切り
6.35mm × 0.36mm × 1445mm × 4山	厚い木材の直線切断
6.35mm × 0.36mm × 1445mm × 14山	プラスチックの切断（厚さ 12mm 以下） アルミ、真鍮、銅板の切断（厚さ 6mm 以下）



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



組立て

⚠ 警告

- ・ 組立ての前に本体のスイッチが切れていること、電源プラグが電源コンセントから抜いてあることを確認してください。不意な始動によるけがの原因になります。

● 帯ノコ刃の取付け

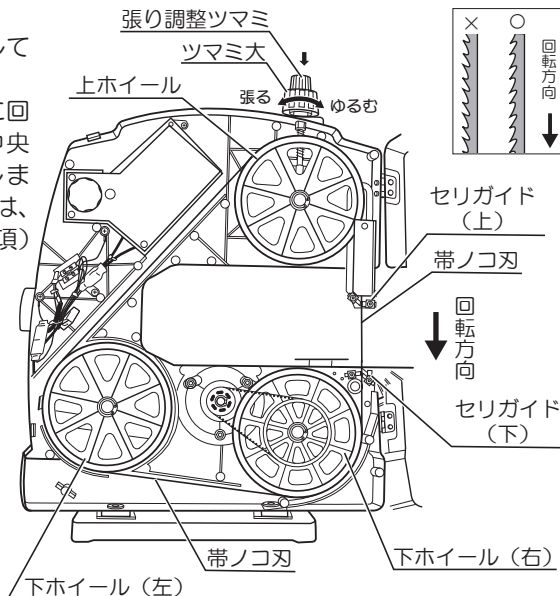
⚠ 警告

- ・ 帯ノコ刃を取出す時は、長そでの上着、軍手などを着用して腕や手を保護し、顔などに帯ノコ刃を近づけないようにしてください。また帯ノコ刃をほどく際には、帯ノコ刃自身がほどけようとするので、けがをしないよう刃先に注意してください。

1. 帯ノコ刃をほどいた状態で、帯ノコ刃に防錆油が残っていないか確認してください。防錆油が残っている場合には、ウェスなどで裏表ともに拭き取ってください。油で帯ノコ刃とホイールが滑り、帯ノコ刃が安定しません。
2. フロントカバーを開きます。(15 ページ「●フロントカバーの開き方」参照)
3. ツマミ大を矢印(ゆるむ)方向に回してロックが解除されていることを確認します。
4. 帯ノコ刃の向きと機械の回転方向に注意して、帯ノコ刃を上ホイール、下ホイール(左)に掛け、張り調整つまみを上から押さえた状態で上下のセリガイドを通してから下ホイール(右)にはめます。
5. ツマミ大を矢印(張る)方向に回してロックをします。
6. 上ホイールを軽く時計回りの方向に回し、帯ノコ刃がホイールのほぼ中央位置で安定して回ることを確認します。帯ノコ刃が中央位置にない場合は、16 ページ(帯ノコ刃の位置調整の項)を参照して調整してください。



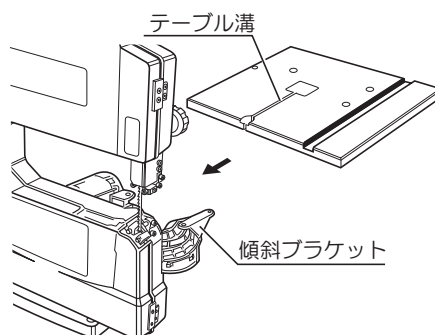
- ・ 帯ノコ刃の取付けが難しいときは、無理をせず、他の人に張り調整つまみを押さえてもらうと簡単に行なえます。
- ・ セリガイドを広げると帯ノコ刃の取付けが簡単に行なえます。



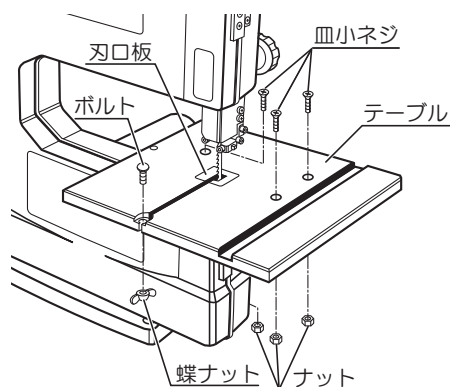
組立て

● テーブルの取付け

- ・ 帯ノコ刃の背側より帯ノコ刃とテーブルの溝を合わせ、挿入します。

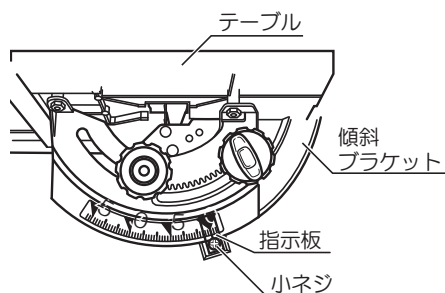


- ・ 傾斜ブラケットのネジ穴とテーブルのネジ穴を合わせ、3本の皿小ネジ、ナットで取付けます。
- ・ テーブルの切欠き部をボルトと蝶ナットで固定します。
- ・ テーブルに刃口板をはめ込みます。



● 指示板の取付け

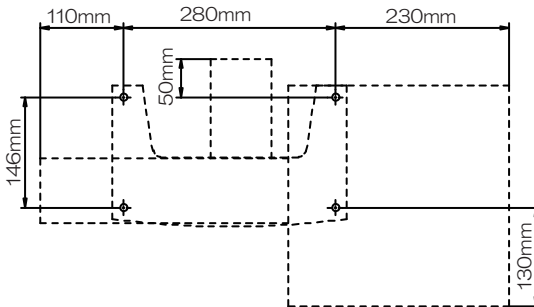
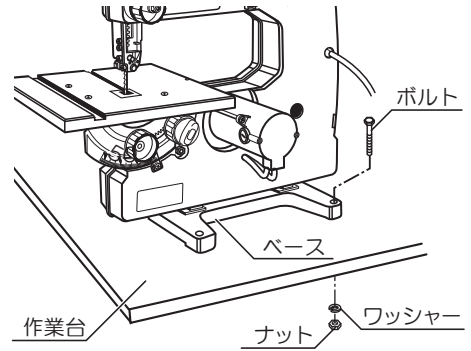
- ・ 指示板をフレームに小ネジで取付けます。
(テーブル調整を行なった後、指示板の位置調整を行なってください。17ページ「● テーブルの調整」参照)



●作業台への設置

- ・本機を本体ベース部の4ヶ所の穴を利用して傾斜のない平坦な作業台などの上に動かないように、市販のボルト (M10)、ナット (M10)、ワッシャー (M10) などを使用して固定してください。

前側の2ヶ所は、フロントカバーを開いてから行ってください。(15ページ「●フロントカバーの開き方」参照)



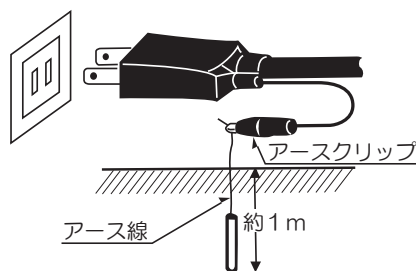
操作方法

●漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

●アースについて

- ・感電事故防止の為、ご使用に先立ち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する工事は、電気工事士の資格が必要です。ので最寄りの電気工事店に相談してください。

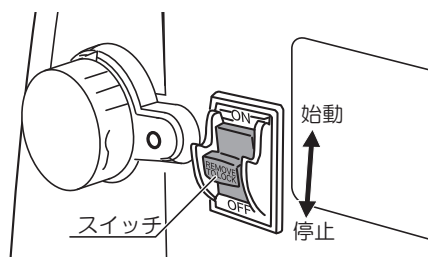


●スイッチの扱い方

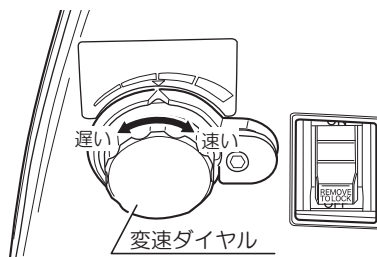
⚠ 警告


- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ・スイッチ操作はスイッチを上へあげると（ON）始動します。スイッチを下へ下げると（OFF）停止します。
帯ノコ刃などの各調整、締付けを確認した後、スイッチを入れてください。



- ・ 変速ダイヤルを左右に回すことにより、帯ノコ刃の周速度を無段階に調節できます。変速ダイヤルに 1.5 ~ 15m/s を表示しています。下表を参考にして作業に合った周速度に調節してください。



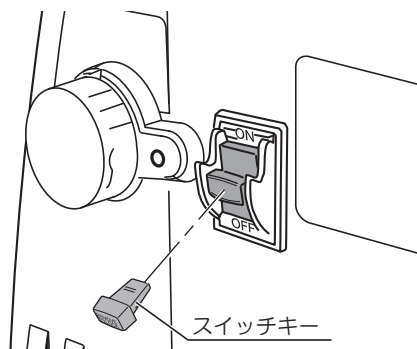


本機には過負荷保護装置が付いています。使用中に装置が作動して機械が止まった場合には、材料を少し戻して刃物から離し、一度スイッチを切った後、スイッチを入れ直してください。

〈変速ダイヤル目安表〉

加工材	木材	プラスチック	アルミ板	真鍮	銅板	鉄板
周速度	12.5m/s ~	6m/s	5.5m/s	4m/s	2m/s	切断不可

- ・ 使用しないときや保管、持ち運ぶときは、スイッチをロックされる事をおすすめします。スイッチをロックするには、スイッチを OFF にし、スイッチキーを引抜いてください。スイッチキーを抜いていればスイッチは作動しません。使用するときには、スイッチキーをさし込んでください。



操作方法

●フロントカバーの開き方

- ・帯ノコ刃の交換、調整時に開いてください。

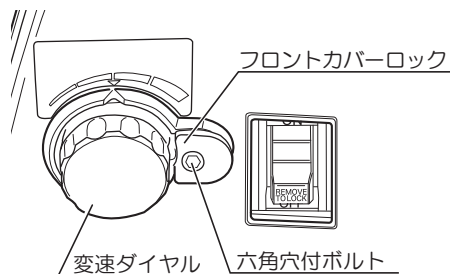


作業時は、必ずフロントカバーを閉じてから切断作業を行なってください。

- ・フロントカバーの開き方は、六角棒レンチ4mmで六角穴付ボルトをゆるめてフロントカバーロックを取外し、本体左側面の突起部を持ってフロントカバーを開きます。

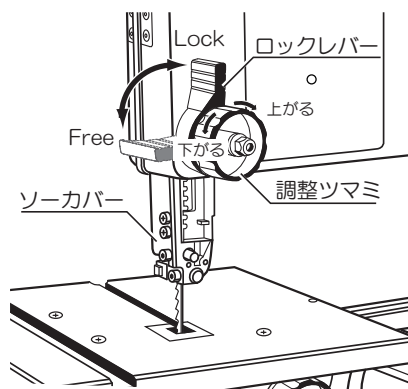


帯ノコ刃の交換、調整後はフロントカバーを閉じ、フロントカバーロックを必ず取付けてください。



●ソーカバーの調整

- ・切断する材料の厚さに合わせ、ソーカバーを上下に移動して帯ノコ刃が必要以上に露出しないように調整してください。
- ・調整方法は、ロックレバーを矢印 (Free) 方向に回してロックを解除します。調整ツマミを回してソーカバーを切断する材料の上面にできる限り近づけてください。(材料とソーカバーの隙間は3～4mm程度) ロックレバーを矢印 (Lock) 方向に回してソーカバーをロックします。



●帯ノコ刃の調整

⚠ 警告

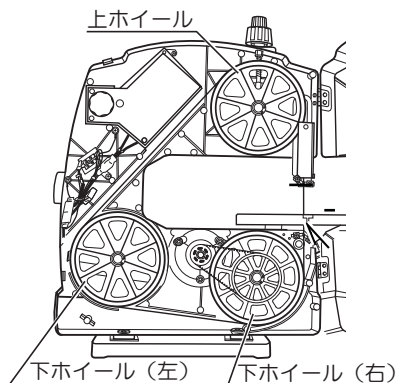
- ・帯ノコ刃の調整の際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・帯ノコ刃は適正な緊張で使用してください。過度の緊張は帯ノコ刃の寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコ刃の飛び出しの原因になります。

⚠ 注意

- ・帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

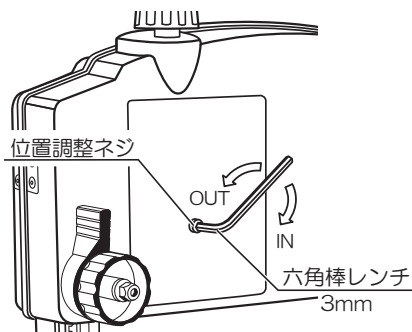
〈位置調整〉

- ・ フロントカバーを開きます。(15 ページ参照)
- ・ 手で上ホイールを時計回りの方向に回し、帯ノコ刃が3つのホイールのほぼ中央位置を通っているか確認してください。中央位置にない場合は、下記要領で位置調整を行なってください。
- ・ 調整後はフロントカバーを閉めてください。

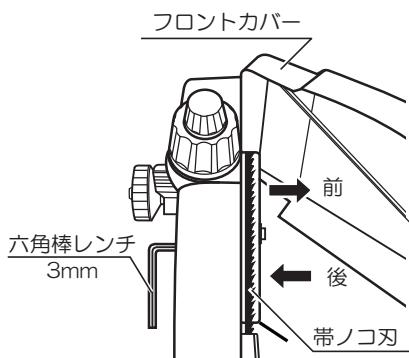
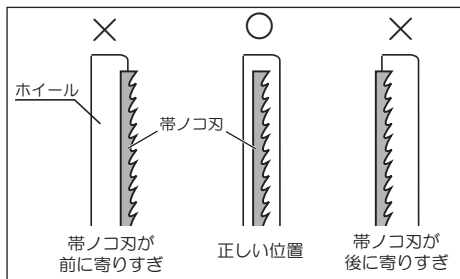


《調整方法》

1. 本体裏側の位置調整ネジに六角棒レンチ 3mm をさし込みます。
2. 上ホイールを手で回しながら、六角棒レンチで位置調整ネジを少しずつ回して調節します。
帯ノコ刃が後に寄りすぎている場合は矢印 (OUT) 方向に、帯ノコ刃が前に寄りすぎている場合は矢印 (IN) 方向に回してください。



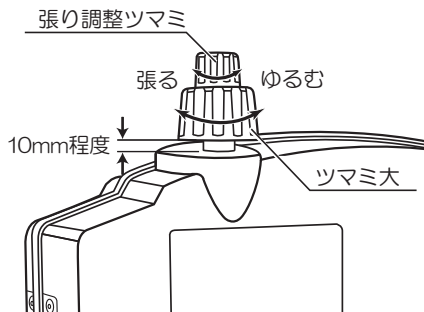
位置調整ネジは、左右半回転 (180°) 以上は回さないでください。



操作方法

〈張り調整〉

- ・ 本機使用時の帯ノコ刃の張りは、ツマミ大とフレームの隙間が 10mm 程度で適正な張りになります。
- ・ ツマミ大とフレームの隙間は、張り調整ツマミを回して調整します。(張り調整ツマミをゆるめすぎるとホイールが外れることがあります。)
- ・ ツマミ大を矢印(張る)方向に回してロックした状態でバネによって自動的に適正な張りになります。

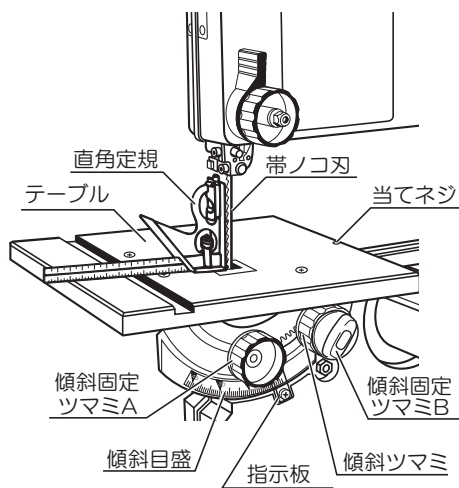


帯ノコ刃は使用していると少し伸び、ツマミ大とフレームの隙間が広くなる場合がありますので調整してください。

●テーブルの調整

〈水平〉

- ・ ソーカバーを一杯に上げ(15 ページ「●ソーカバーの調整」参照)、傾斜固定ツマミ A,B をゆるめます。
- ・ 直角定規をテーブルに置き、帯ノコ刃に当ててください。帯ノコ刃に対してテーブルが直角になるように傾斜ツマミを回してテーブルを調整し、傾斜固定ツマミ A,B を締付けてください。
- ・ 六角棒レンチ 3mm でテーブルの当てネジをフレームに当たるまで回してください。
- ・ 指示板の赤線を傾斜目盛の”0”位置に合わせてください。



〈傾斜〉

- ・ テーブルの傾斜は、傾斜固定ツマミ A,B をゆるめ傾斜ツマミを回して 0 ~ 左 45° の範囲で調整できます。(傾斜目盛は目安にしてください。)
- 傾斜角度設定後は、傾斜固定ツマミ A,B をしっかりと締付けてください。

●セリガイド部（上下）の調整

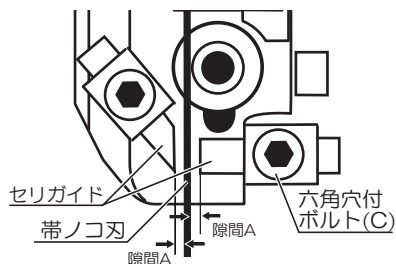
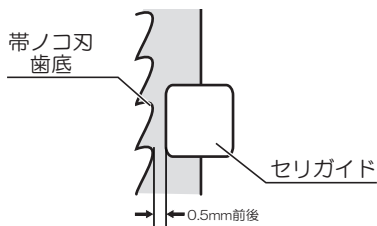
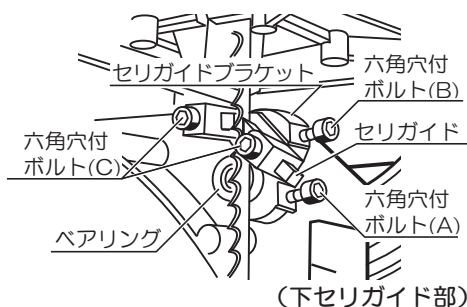
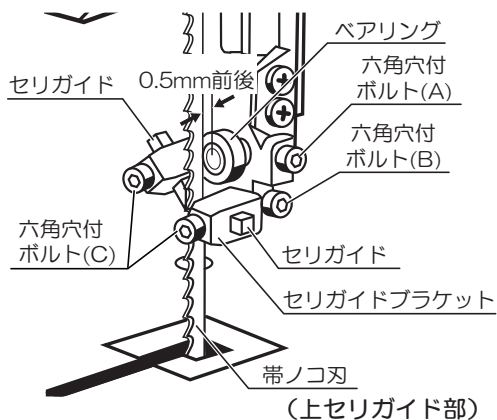
- ・セリガイド部の調整良否が切断性能を左右しますので、テーブルの上下にあるセリガイド部は必ず作業前に調整してください。調整には六角棒レンチ 4mm を使用してください。

〈ベアリングの調整〉

- ・ベアリングは切断中に帯ノコ刃が押されて逃げるのを防ぎます。
 - ・ベアリングの調整は、六角穴付ボルト (A) をゆるめ、ベアリングを前後に動かします。帯ノコ刃の背とベアリングとの間隔を 0.5mm 程度に調整してください。
- 調整後は、六角穴付ボルト (A) をしっかり締付けてください。

〈セリガイドの調整〉

- ・セリガイドは帯ノコ刃が変形するのを防ぎます。
 - ・セリガイドの位置調整は、六角穴付ボルト (B) をゆるめ、セリガイドブラケットを前後に動かして、セリガイドが帯ノコ刃の歯底より 0.5mm 程度後側になるように調整してください。
- 調整後は、六角穴付ボルト (B) をしっかり締付けてください。
- ・セリガイドと帯ノコ刃の隙間の調整は、六角穴付ボルト (C) をゆるめ、左右のセリガイドを動かして、セリガイドと帯ノコ刃の隙間 A が薄い紙が 1 枚通る程度になるように調整してください。
- 調整後は、六角穴付ボルト (C) をしっかり締付けてください。



セリガイドで帯ノコ刃をはさみつかないようにしてください。

操作方法

●帯ノコ刃の交換

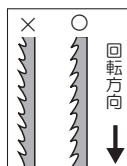
⚠ 警告

- ・ 帯ノコ刃の交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

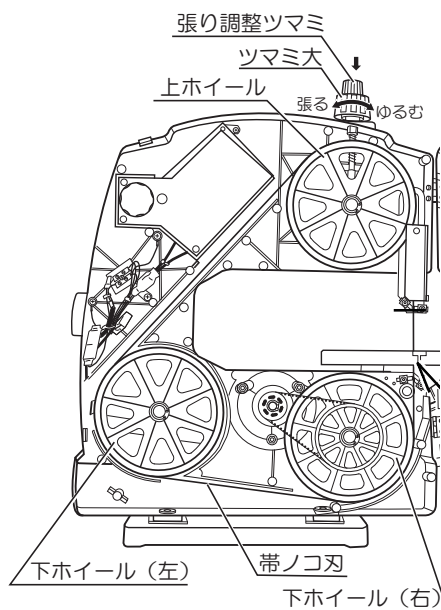
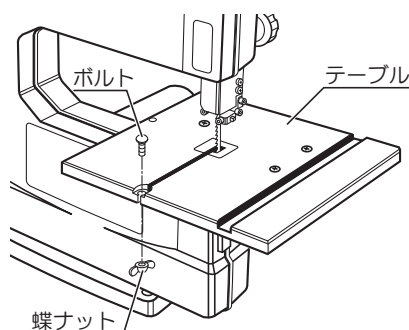
- ・ 帯ノコ刃は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・ 帯ノコ刃の取扱いは刃先に注意して、けがをしないようにしてください。

1. テーブルの切欠き部の蝶ナットをゆるめて、ボルト、蝶ナットを取外します。
2. フロントカバーを開いてください。(15 ページ参照)
3. ツマミ大を矢印(ゆるむ)方向に回してロックを解除します。
4. 張り調整ツマミを上から押さえた状態で上ホイールから慎重に帯ノコ刃を取外してください。
5. 帯ノコ刃の刃先方向と回転方向に注意して、新しい帯ノコ刃を取付けます。



上ホイールから下ホイール(左)に帯ノコ刃を掛け、張り調整ツマミを上から押さえた状態で下ホイール(右)に帯ノコ刃をはめ込みます。

6. 上ホイールを軽く時計回りの方向に回し、帯ノコ刃がスムーズに回転することを確認してください。
7. ツマミ大を矢印(張る)方向に回してロックします。
8. フロントカバーを閉じ、フロントカバーロックを必ず取付けてください。

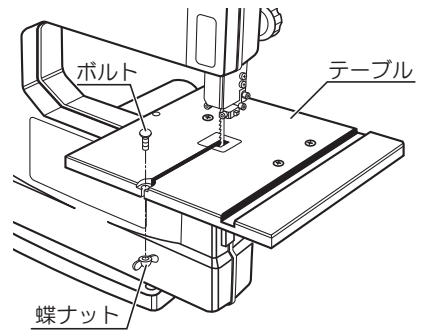


9. テーブルの切欠き部をボルトと蝶ナットで固定します。



- ・ 帯ノコ刃の交換が難しいときは、無理をせず、他の人に張り調整ツマミを押さえてもらうと簡単に行なえます。
- ・ セリガイドを広げると帯ノコ刃の取付けが簡単に行なえます。

- ・ ノコ刃の交換後は、帯ノコ刃の張り調整、位置調整、セリガイド部の調整を行なってください。



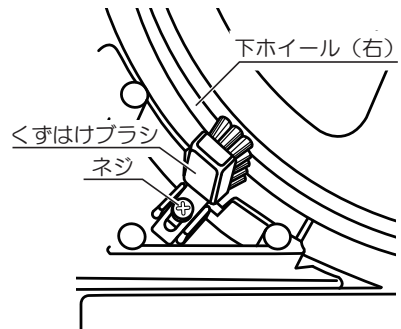
●くずはけブラシについて

- ・ ホイールのゴム面に切りくずが付着しないように、くずはけブラシを設けておりますが、時々、帯ノコ刃を外してゴム面上の切りくずを取除いてください。
- ・ くずはけブラシがホイールに当たるように、ネジをゆるめて調整してください。調整後は、ネジをしっかり締付けてください。



ブラシがホイールに強く当たり過ぎると、スムーズに回転しない場合があります。

- ・ ブラシが摩耗した場合は、新しいくずはけブラシと交換してください。



操作方法

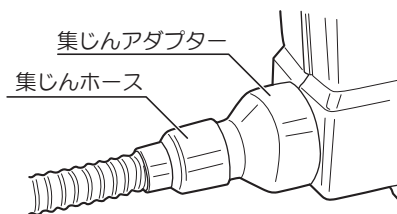
●集じんホースの取付け（別販売品）

- ・別販売品の集じんホースを取付け、集じん機に接続してクリーンな作業ができます。
- ・接続は本体のダスト口に集じんアダプターをさし込み、集じんホースを集じんアダプターと、集じん機のホースに接続します。

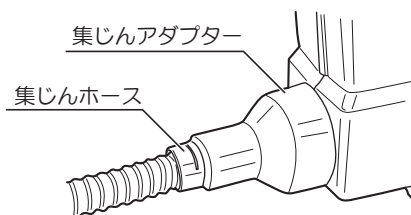
（集じんアダプター径 ……（内径）30mm）
……………（外径）38mm）



接続する集じん機により接続方法が異なりますので、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。



（本体接続側（内径）38mm 使用の場合）



（本体接続側（外径）30mm 使用の場合）

切断作業

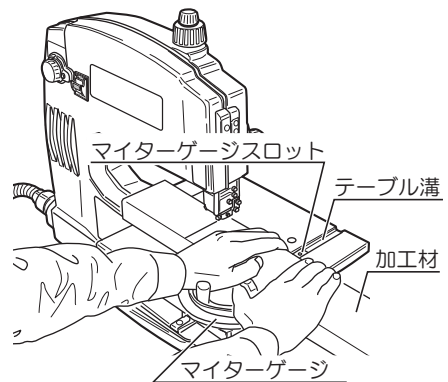
⚠ 警告

- ・ソーカバーは、必ず材料の近くまで降ろして使用してください。帯ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
- ・使用中は、帯ノコ刃や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切断する材料は、しっかりと保持してください。保持がゆるいと、けがの原因になります。
- ・長い材料や重い材料を加工する時、切断中に材料の重みなどでバランスが崩れ、帯ノコ刃をはさみつかないよう注意してください。帯ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ・材料に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれや、反発から思わぬけがの原因になります。
- ・切断しようとする材料の前方や切断線上に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業をしないでください。手を切ったり、コードを切断し感電のおそれがあります。

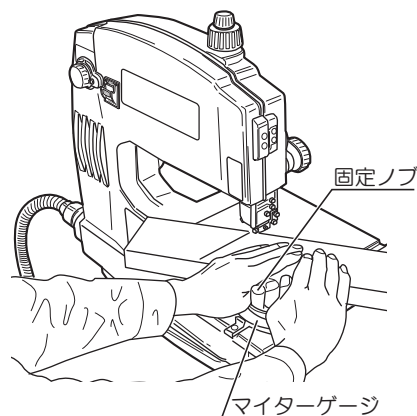
1. ソーカバーを切断する材料の近くまで下げてください。
2. 切断する材料に合わせて帯ノコ刃の周速度を調節します。(14 ページ参照)
3. スイッチを入れ、帯ノコ刃の回転が安定してから、切断する材料の切断位置を静かに帯ノコ刃の刃先に当てて切断を開始します。加工材に予め切断線を引き、線に沿ってゆっくりと切断します。切断するときは、加工材を帯ノコ刃にむかわせ、押しながら切ります。マイターゲージを使用すれば、よりスムーズな切断ができます。



切断作業

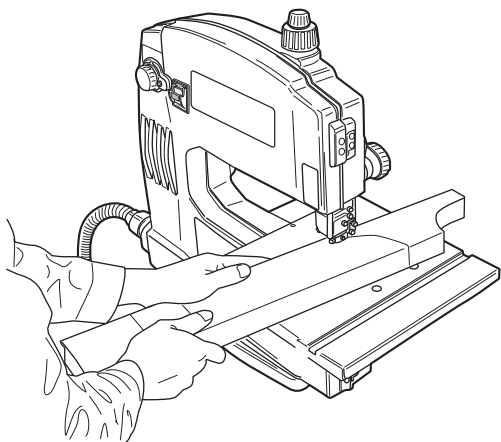
●直線（角度）切断

- ・直線（角度）切断の際は、マイターゲージをご使用ください。
- ・テーブルの溝にマイターゲージスロットを入れ、マイターゲージの固定ノブをゆるめて角度（右 30° ～左 30° ）を設定します。設定後は固定ノブを締付けてください。マイターゲージの角度目盛は目安にしてください。精度が必要なときは、角度定規で予め調整してください。



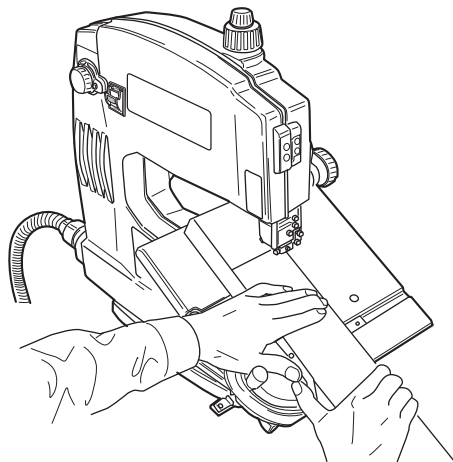
●曲線切り

- ・円弧や曲線を切断する場合は、送材速度（材料を切込む状態に合わせて送り込む速さ）や回転数をやや遅くすると切りやすくなります。



●傾斜切断

- ・傾斜固定ツマミをゆるめ、傾斜ツマミを回してテーブルの傾斜角度を合わせます。（傾斜目盛は目安にしてください。）傾斜角度設定後は、傾斜固定ツマミをしっかりと締付けてください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

● 刃物の交換

- ・ 摩耗した帯ノコ刃を使用すると能率が悪いばかりでなく、モーターに無理な力をかけることとなります。早めに交換してください。

● 各部取付けネジの点検

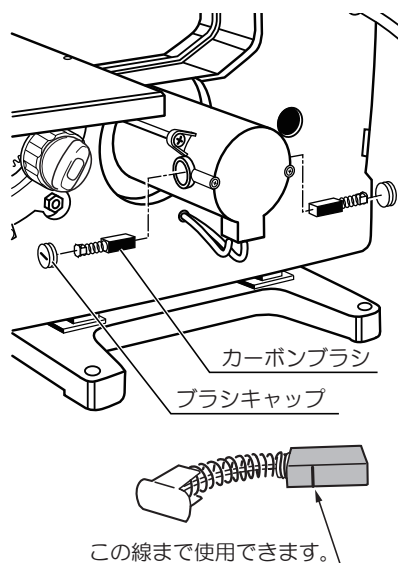
- ・ ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

● 使用後の手入れ

- ・ 油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

● カーボンブラシについて

- ・ カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の1/3程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
 - ・ カーボンブラシの交換は、⊖ドライバーでブラシキャップを外し、摩耗したカーボンブラシを取出して新品と交換してください。
 - ・ カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。
- この時、カーボンブラシがブラシホルダ内でスムーズに動くことを確認してください。



保守と点検

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手が届く範囲や、落下のおそれのあるところは避けてください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	TBS-80	製造番号（本体の銘板をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	電話 ()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記載してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512
愛知県名古屋市中白区久方1-145-1
TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

